

# 神樹の会会報

No. 19

平成 2 年 1 月 10 日

発行所：神樹の会

発行人・牧野一夫

## 本部事務所（六甲作業所内）

〒657 神戸市灘区備後町3丁目2番22号

821-1533

## 六甲作業所、東部生活訓練所

〒657 神戸市灘区備後町3丁目2番22号

821-1533

垂水作業所

〒655 神戸市垂水区星陵台4丁目4番45号

782-9675

福祉の店 “いたやど”

〒654 神戸市須磨区大黒町2丁目2-12

**733-2477**



本年もよろしくお預かり申しあげます

与えて文獻考

神樹の会会長  
牧野

卷之三

広い敷地にゆつたりと設立された施設、姫路の打越にある三愛園を訪れる機会があつた。園長の増山女史と長時間話しあつた中で、家庭と縁の切られた入所者は悲惨ですとの話しもあつた。確かに障害関係者同志の思いやりがなければ障害者の幸せは永遠に求められない。

障害には幾多の種類があり軽重がある。しかも家庭の事情も成育過程も異なるのだから比較するのはやむを得ないとしても、共に悩み必死で生きようとする気持には変わりがない。にもかかわらず中には案外他の障害者やその家族に冷淡なものも目につく。

人間社会だから少々のわだかまりが出来るのは当然であるが「こんな団体はうちの子に關係がない」と入会を拒んだり集団から去っていくものもある。集団に所属すれば義務や負担がかかり、わが子の得にならないと思われるからであろう。

本年のバザーもずいぶん多くの方々の協力を得た。明倫会を支援

さるご心情を察して感謝で目頭が熱くなる。  
有名なことばに「与えて求めず」とか「七施」の教えは福祉の原点である。会が筋の通つた要望請願をするのは当然の権利ではあるが、その根底に障害者同志の精いっぱいの互助の精神がなければならぬ。本年も本会が会員相互の精神的支柱となるように努めようではないか。

自分のやるべきこと、  
自分がやらなければ  
ならないことを、  
好きになりたいと  
自分と違う者になろうとした  
自分自身になりきる勇気を  
感動あるできごとを数多く  
長くではなく多く  
人生を生きた  
人生は短く、できることは  
限られているのだから・

三、お陰様で福祉ショッピングセンター開業十周年

皆様に愛されている福祉ショッピングセンターが、平成元年十二月二十五日で十歳を迎えることができました。店内でより民生局心身障害福祉室育成課の皆様をはじめ約二十五名が参列し、簡単な式典をもちました。心のこもった手作りを持ってきて下さったり、お買上げ頂に心よりお礼申し上げます。

いる子供たちにこれから親はどうして  
あげればいいのかしら…。この頃食欲  
旺盛ですごく体重が増えたのよ！30  
kg太った、200kg減ったと言つて  
この大げさな気分の高揚！背が伸びて  
お風呂が大変、あちこちぶつつけて親  
子でしりもち。ああ私だつて少し前ま  
では抱っこしたまま全速で走れたのに

# マドンナーパワーで

売上最高!!

第18回バザー収支決算

收入の部	支出の部
第1日目売上	3,785,757
第2日目売上	2,544,744
会場募金	12,275
寄付金	1,745,816
	会場設営費
	通信費
	事務費
	文書印刷費
	手芸材料費
	販札梱包費
	交通費
	雑費
計	8,088,592
	990,188
	差引収益
	7,098,404



特技を生かして編物  
しゅう、袋物、エプロン  
など手作りに挑  
戦します



値付け作業 4ヶ月  
市価の60%以下もあれば  
ん

9月~10月末

両校の先生方の応援  
を大願いして…  
お父さん方もがんばります

11月5日

バザーの前夜

11月6.7日

大盛況の売場

11月6.7日

大盛況の売場